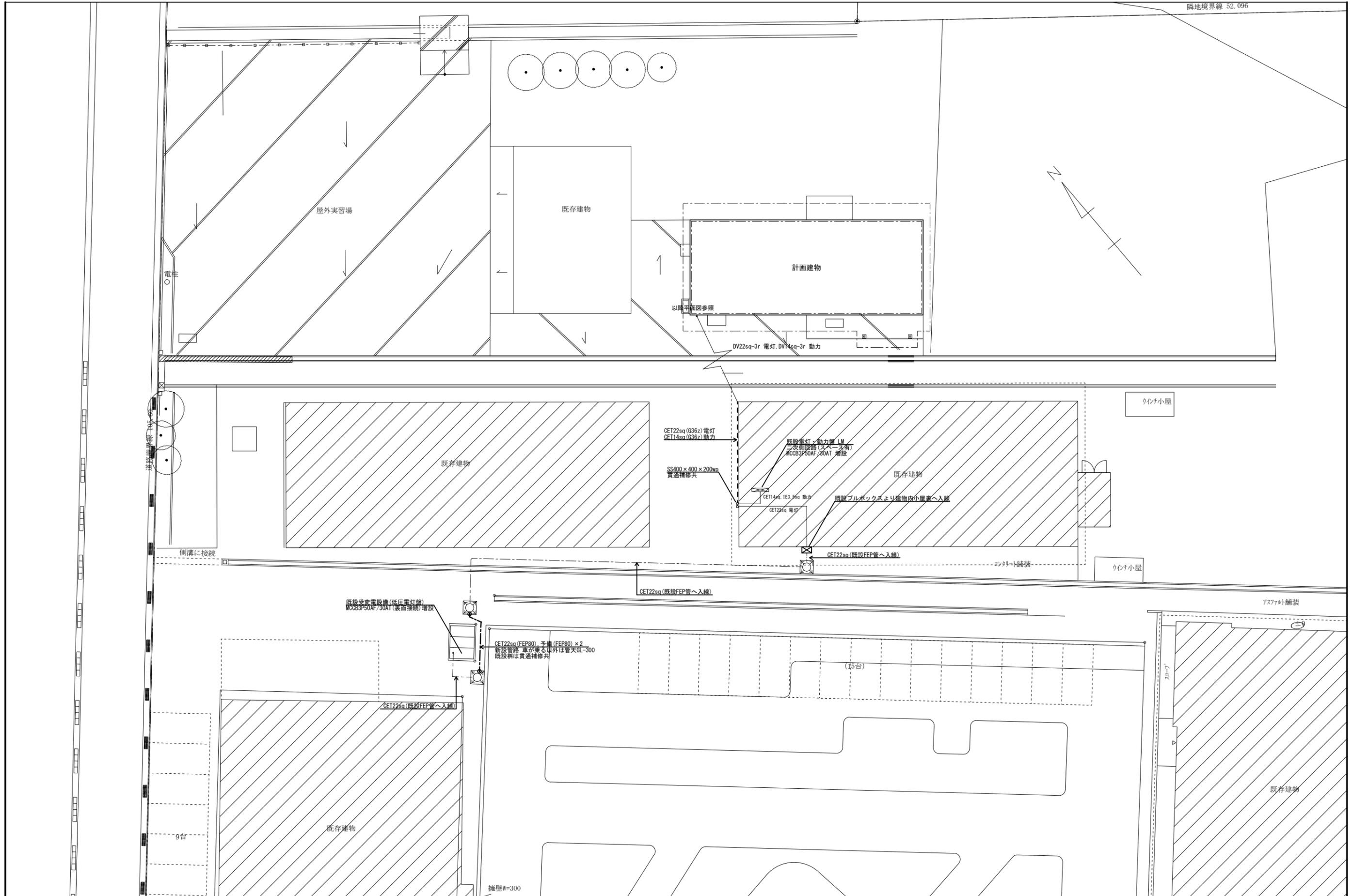


記号	名称	規格・仕様・摘要	盤名称 形式 仕様 階数 設置場所	回路区分 電気方式 容量合計 番号 一次配線	盤内結線 負荷番号	負荷名称	電圧					負荷容量					開閉器			制御回路	付属器具	備考		
							(V)	(R-N)	(T-N)	(R-T)	TOTAL	配線保護	極数	AF	AT									
●	埋込型スイッチ	1P15A300V 取付枠 新金属プレート共	新設	一般電灯 1φ3W 200/100V	T x	主幹	200/100																	
●3	埋込型3路スイッチ	3W15A300V 取付枠 新金属プレート共	電灯盤 L4 屋内壁掛型 公共建築工事仕様 IF 資材保管庫	6.0 kVA CET 22sq																				
●L	埋込型ランプ付スイッチ	1P15A100V(3線式) x 1 取付枠 新金属プレート共 ※24時間換気を使用する場合は“常時換気”の表示を行うこと	塗装仕上 ・指定 ○標準 ・耐塩	IE5.5sq(EO-D) IE5.5sq(ED:ELCB)																				
Ⓜ	埋込コンセント	2P15A125V x 1 取付枠 新金属プレート共				401	電灯	100	910															
Ⓜ2	埋込コンセント	2P15A125V x 2 取付枠 新金属プレート共				402	換気扇	100		416														
ⓂE	埋込コンセント	2P15A125V x 1 接地極 取付枠 新金属プレート共				403	コンセント	100	400															
ⓂDE	埋込コンセント	2P15A125V x 2 接地極 取付枠 新金属プレート共				404	VR労働災害体験室 南	100	300															
ⓂDLK	埋込コンセント(引掛・プラグ共) (壁付換気扇・電動シャッター用)	2P15A125V x 2 取付枠 新金属プレート共				405	VR労働災害体験室 北	100	300															
Ⓜ	アースターミナル	新金属プレート				406	屋内実習棟 南	100		400														
ⓂWD	防水コンセント(抜止)	2P15A125V x 2 接地極 アースターミナル共				407	屋内実習棟 北	100	300															
Ⓜ	防雨入線カバー	埋込・露出両用				408	電動シャッター 南	100		280														
K	カバープレート(壁・天井)	新金属プレート				409	電動シャッター 北	100	280															
Ⓜ	ノズルプレート(壁・天井)	新金属プレート				予備		100																
Ⓜ	手元開閉器盤(動力盤)	詳細は盤単線結線図参照				4		100																
Ⓜ	電灯盤	詳細は盤単線結線図参照				4		100																
Ⓜ	ハンドホール	既設	新設	一般動力 3φ3W 200V		405	空調室外機	200		3,750														30mA 0.1sec
Ⓜ	位置BOX、プルボックス	アウトレットボックス スイッチボックス コンクリートボックス プルボックス等	公共建築工事仕様 一 屋外	3.75 kW CET 14sq																				
Ⓜ	立ち上げ及び立ち下げ		塗装仕上 ・指定 ○標準 ・耐塩	IE3.5sq(EO-D)																				
Ⓜ	接地工事	接地種別は図示による																						
Ⓜ	空調機リモコンボックス																							
Ⓜ	電動シャッタースイッチ及び配管																							

照明器具姿図

図面番号	器具名称	器具姿図
B37	L E D ライト 直付型 W80 LSS1-4-37 LN	
B65	L E D ライト 直付型 W80 LSS1-4-65 LN	
W06wp	L E D プラケットライト LBF3MP/RP-2-06 LN	



A2 → 100%		●工事名 R4ス林 林業労働安全実技研修施設 徳・南庄 新築他工事	●図面番号 E-003	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759
A3 → 71%縮小		●図面名 電気設備 部分配置図	●縮尺 1/200	管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号

特記なき配線は下記により施工する
 照明回路
 // EM-EEF 1.6mm - 2c
 /// EM-EEF 1.6mm - 3c
 //\ EM-EEF 1.6mm - 2c, IE1.6mm
 ///\ EM-EEF 1.6mm - 3c, IE1.6mm

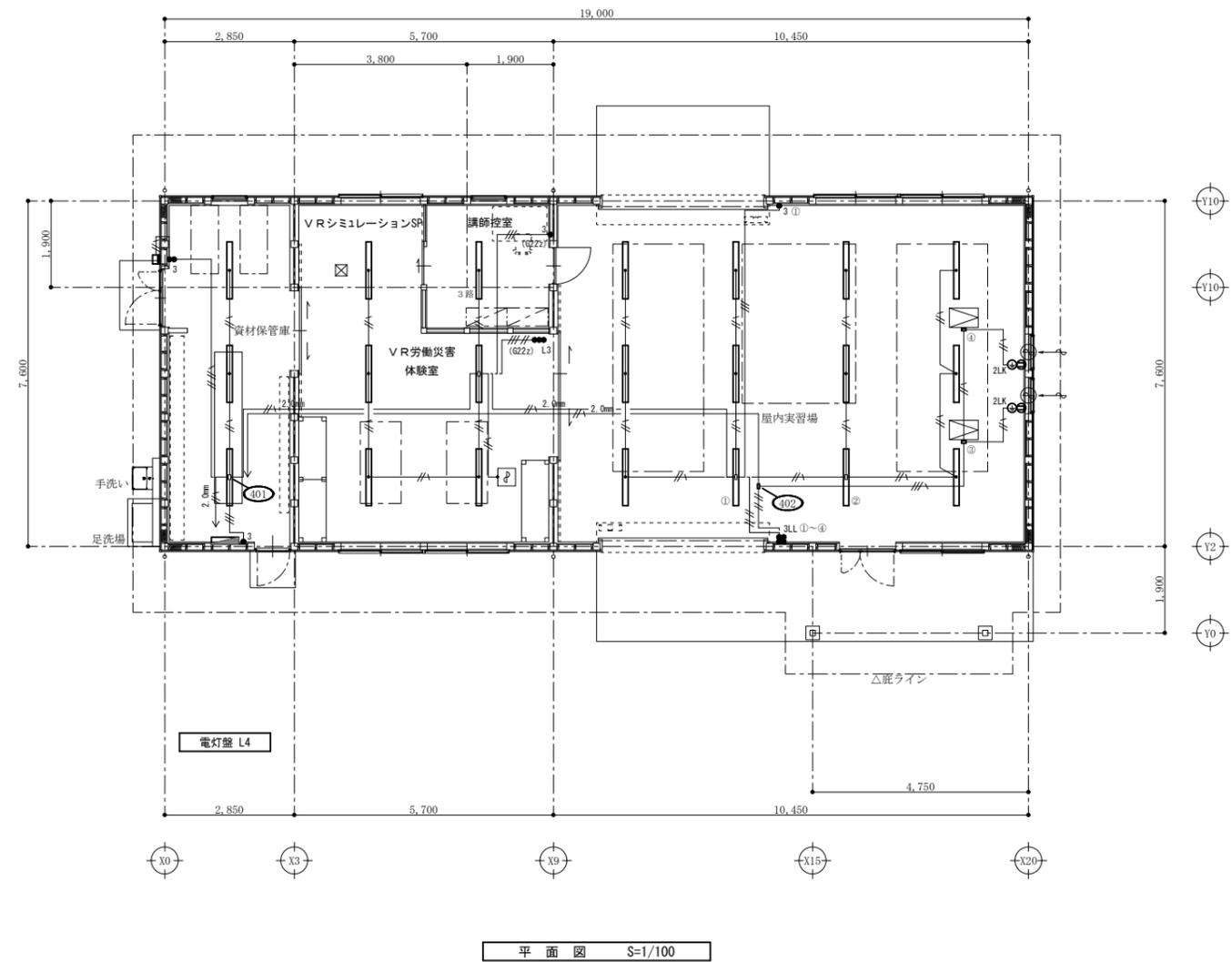
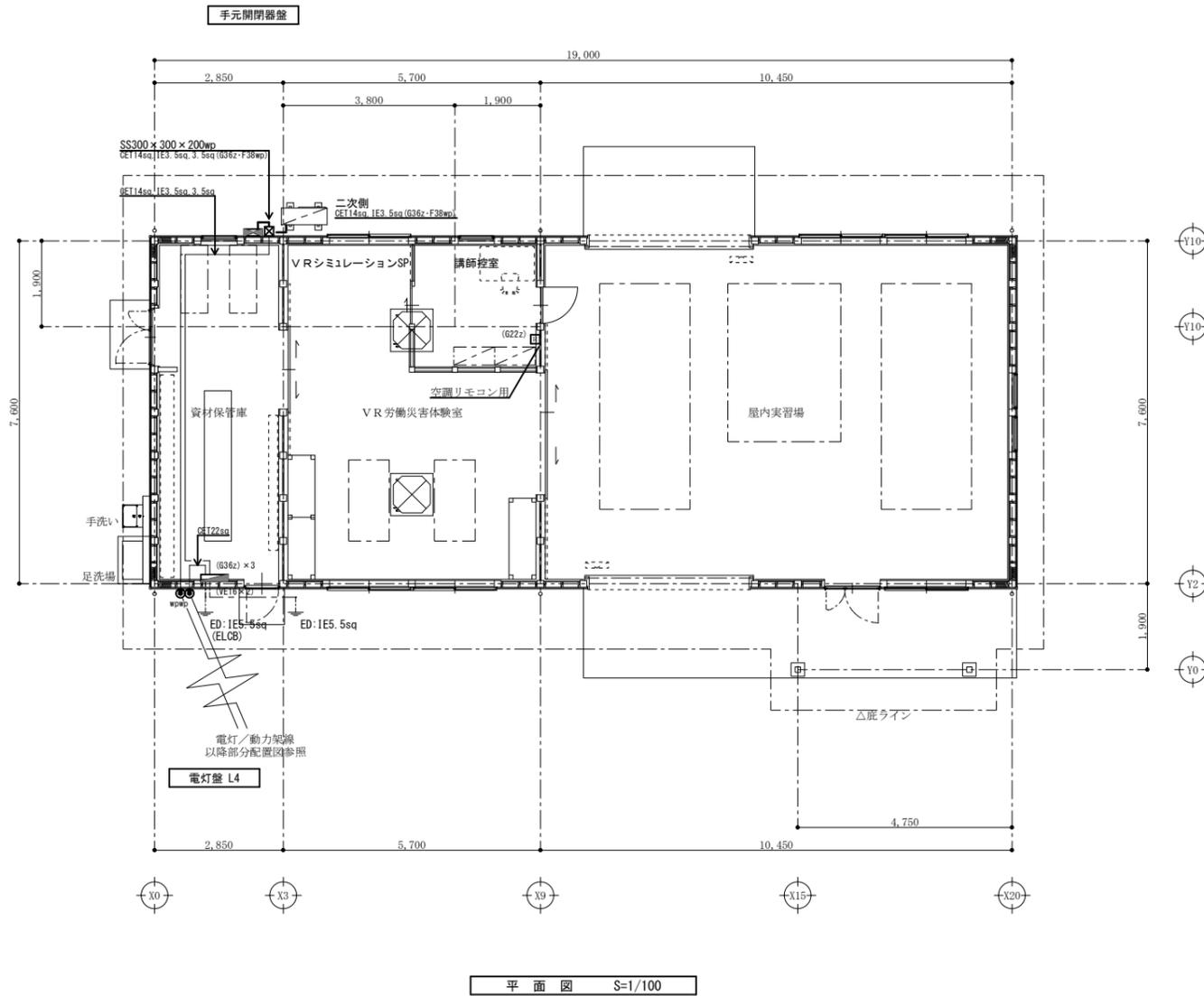
多芯の場合は上記組み合わせ等による
 壁内は合成樹脂可とう電線管 (PF) にて保護すること
 転がし配線施工は支持材にて固定支持する
 図示にて 2.0mm等の表示は、EEF2.0mm を使用のこと
 電線管は上記の他、図示にて示す電線管にて保護とする

資材保管庫	
B37	3

VR労働災害体験室	
B65	6

屋内実習場	
B65	12

屋外	
W06wp	1



特記なき配線は下記により施工する

コンセント回路

EM-EEF 2.0mm - 2c

EM-EEF 2.0mm - 2c, 1E1.6mm

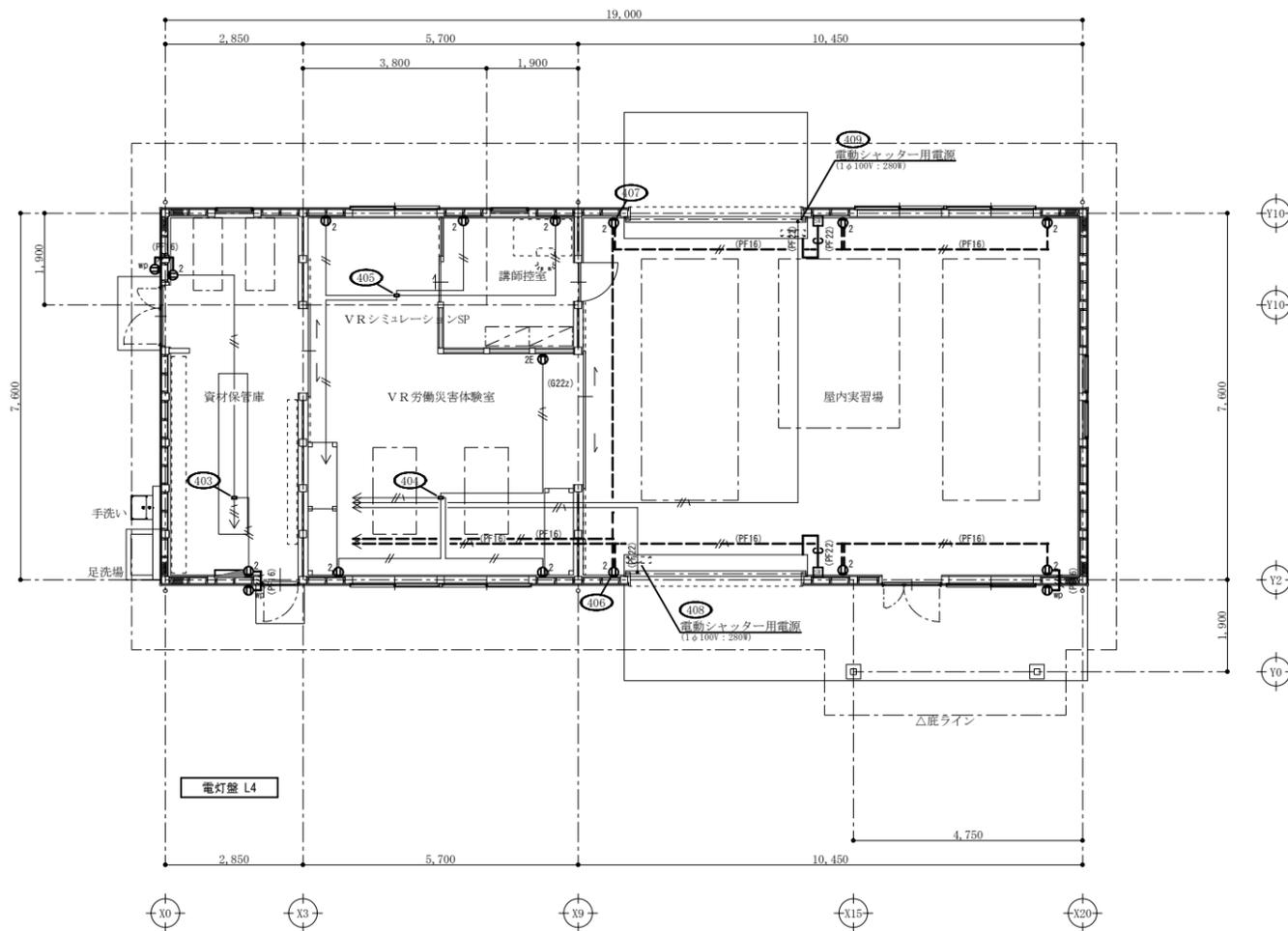
多芯の場合は上記組み合わせ等による

壁内は合成樹脂可とう電線管 (PF) にて保護すること

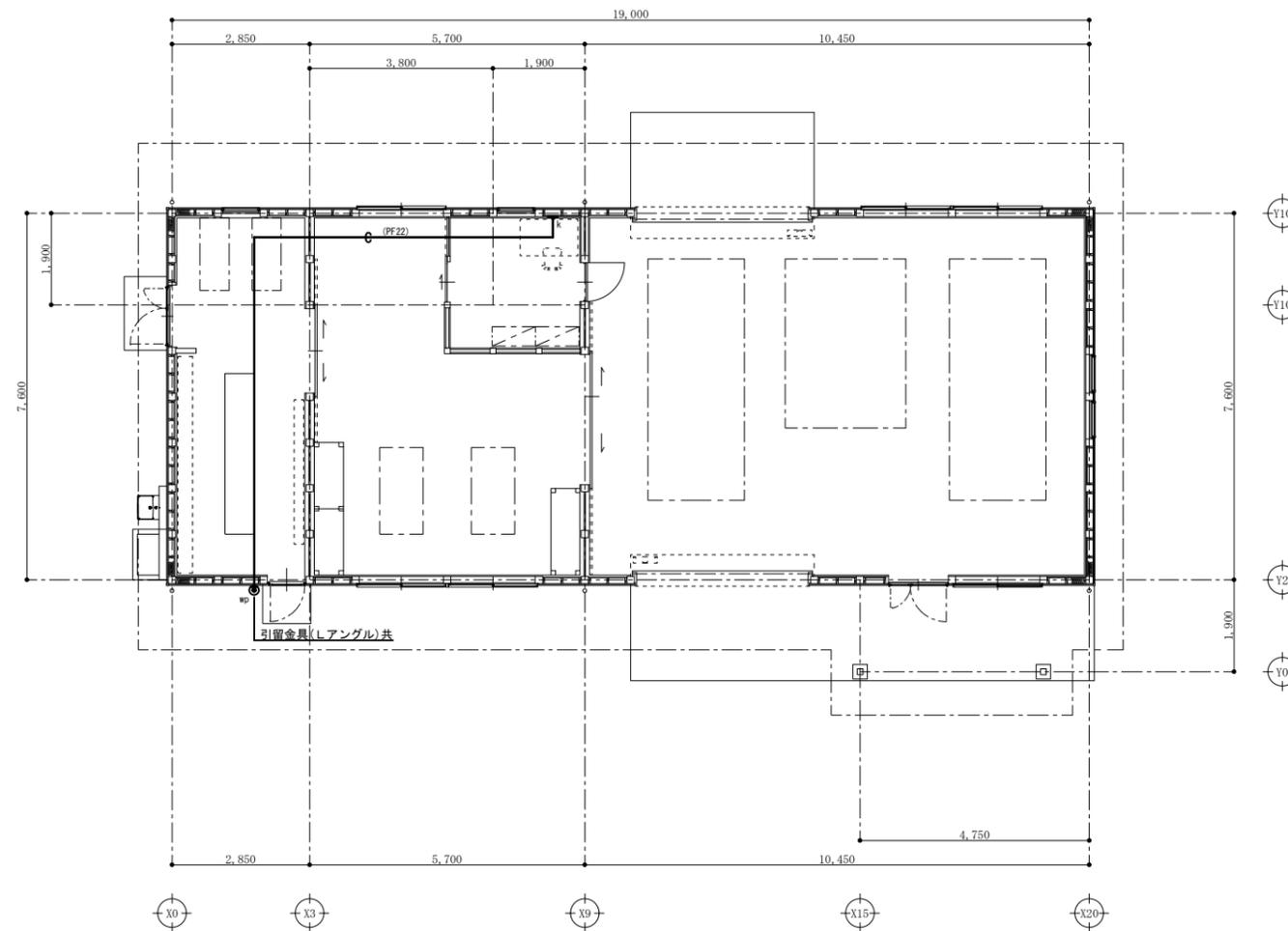
転がし配線施工は支持材にて固定支持する

図示にて 2.6mm等の表示は、EEF2.6mm を使用のこと

電線管は上記の他、図示にて示す電線管にて保護とする。



平面図 S=1/100



平面図 S=1/100

A2 → 100%	●工事名	R4ス林 林業労働安全実技研修施設 徳・南庄 新築他工事	●図面番号	E-005	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759
A3 → 71%縮小	●図面名	コンセント・弱電設備 平面図	●縮尺	1/100	管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号

管工事仕様書

I. 工事種目

種 目	工 事 概 要
衛 生 器 具 設 備	図示位置に衛生器具を取付、調整する工事一式
給 水 設 備	既設給水管より分岐し本工事給水器具へ接続する工事一式
排 水 設 備	本工事排水を既設側溝へ接続する工事一式

II. 共通仕様

特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)」(ただし、改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)」)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(平成31年版)」による。なお、本工事が建築工事又は電気設備工事を含む場合は、それぞれの工事に係る標準仕様書による。また、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針(令和元年版)」を参考とする。

III. 特記仕様1(一般共通事項)

- 本工事に必要な工事用電力、水などの費用及び官公署への諸手続などの費用は本工事に含む。官公署その他への届出手続等は(標仕 <I>1.1.3)により行う。なお、(監理指針 <I>1.1.4)を参考とする。
- 工事の着手に先立ち工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督員に提出する。また、品質計画及び工種別の施工計画書並びに施工図等を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。品質計画及び施工図等については、監督員の承諾を受ける。(標仕 <I>1.2.2、<I>1.2.3)

品質管理は、適切な時期に品質計画に基づき確認、試験又は検査を行う。結果が管理値を外れるなど疑義が生じた場合は、品質計画にしたがって適切な処置を施す。

また、その原因を検討し、再発防止のための必要な処置をとる。(標仕 <I>1.3.4、監理指針 <I>1.3.4)

使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料(製作図、試験成績書を含む)を監督員に提出する。(JISマーク等表示品を除く)(標仕 <I>1.4.2)

上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。
- 設計図書に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、「疑義に対する協議等」(標仕 <I>1.1.8)による。
- 本工事の施工及び管理にあたり法規上必要となる有資格者については、工事着手前に資格者名簿を提出する。
- 本工事のうち建築工事、電気工事及び管工事について下請業者を使用する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有した者を選定すること。
- 機器類は、図示する形状又は配管などの取出し位置等により、特定製造者の特定の製品を指定若しくは限定しない。
- 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。(改修標仕 <2>4.1.3)

梁、スラブ等の構造体貫通の場合は、施工方法について監督員の確認を受けた後に施工する。
- 本工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にない補修する。
- 発生材の処理等は、「発生材の処理等」(標仕 <I>1.3.9)により行う。
 - PGBを含む機器は、調書を添えて引き渡すとする。
 - 空調機等の整備や撤去処分を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律をはじめとする関係法令に基づき、作業や手続を行う。家電リサイクル法に該当する機器については、家電リサイクル法により処理すること。
- 耐震施工

「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説(平成8年版)(建設大臣官房官庁営繕部監修)」によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針(2005年版)(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)」による。

 - 本工事の建物分類は(特定の施設・一般の施設)であり、地域係数は(1.0・0.9)とする。
 - 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合の設計用水平震度は次にによる。

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中層階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

(注) 上層階の定義は次のとおりとする。

2～6階の場合は最上階、7～9階の場合は上層2階、10～12階の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階

重要機器 (・ 防災機器 ・ 火気を使用する機器 ・ タンク類 ・)

(3) 設計用鉛直地震力は、設計水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

(4) 質量100kg以下の軽量の機器(標仕の適用を受けるものは除く)の取付については、機器製造者の指定する方法で確実に取付けを行うものとし、特に計算を行わなくともよい。

11. 各種荷重計算

対象機材 (・ 屋上、塔屋等に設置する機器 ・)

12. 強度計算

対象機材 (・ 配管及びダクト支持材 ・ 煙道支持材 ・)

13. コンクリート工事

受水槽基礎 (・ 強度試験 (・ 公共試験機関 ・ JIS工場) ・ 構造体強度補正值(S)による補正 ・ 調査表提出 ・ アルカリ骨材反応抑制対策確認 ・ 鉄筋材料の規格品証明書提出)

※強度試験の立会いについて、試験を第3者機関で行う場合は、現場代理人又は主任(監理)技術者が、JIS工場の場合は、立ち会い者を定め監督員の承認を受け、行うものとする。

IV. 特記仕様2(特記事項)

- 配管の吊り及び支持は、「標仕」及び「標準図」に従い行う。(標仕 <2>2.6.1、<2>2.6.3)
- 床下土中埋設配管についても吊り又は支持を行い、管の保護のため山砂の類にて管の周囲を埋め戻した後、掘削土の良質土で埋め戻す。
- 管(排水管を除く)を屋外土中埋設する場合は管の保護のため砂の類にて管の周囲を埋め戻した後、掘削土の良質土で埋め戻し、地中埋設表示(表示テープ及び埋設標)を行う。(標仕 <2>2.7.1、監理指針 <2>2.7.1)
- 排水管を屋外土中埋設する場合は、「標仕」の当該事項に従い根切り底には再生クラッシャーランを走り方にならない敷き込み、突き固めた後、管をなじみ良く布設する。埋め戻しは、山砂の類で管の周囲を埋め戻し十分充てんした後、掘削土の良質土で所定の埋め戻しを行う。(標仕 <2>2.7.1、監理指針 <2>2.7.1)
- 給湯管のコンクリート及びコンクリートブロック埋設部は被覆銅管を、床下土中埋設部は保温付被覆銅管をそれぞれ使用する。
- ガス管のコンクリート及びコンクリートブロック埋設部、床下土中埋設部は、合成樹脂被覆銅管を使用する。
- スリーブ材料については、(標仕 <2>2.2.27、監理指針 <2>2.2.27)による。貫通部の処理については、(標仕 <2>2.8.1、標準図 施工1、監理指針 <2>2.8.1)による。なお、紙製仮枠を用いる場合は、変形防止の措置を講じる。
- 液化石油ガス設備は、液化石油ガス設備士により気密試験を行い試験成績書を提出する。
- 弁類で、公営水道に直結する配管に使用するものは、JIS-10Kとし、高置水槽以降の配管に使用するものはJIS-5Kとする。ただし、特記部分は、JIS-10Kとする。
- 保温工事種別について、給水管、排水管及び給湯管は、原則グラスウール保温材とする。給水管の床下、暗渠内及び屋外露出部分は、ポリスチレンフォーム保温材とする。ただし、耐火二層管は保温を行わない。
- 消火管の屋外露出部分については、ポリスチレンフォーム保温材により保温を行う。
- 給水用配管で、ポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント及び弁は保温を行わない。
- ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製(SUS304)又は溶融亜鉛めっき製(HDZ35以上)とし、屋外
- あと施工アンカーボルトの選定については、次にによる。
 - 機器類の固定には、金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーを使用し、次の機器については、施工後確認試験を行う。(・ 受水槽 ・ 高架水槽 ・ 給水ポンプ装置 ・)
 - 配管の吊り及び支持材の固定には、その自重に十分耐えうるアンカーを使用する。なお、耐震支持に使用する躯体取付用のアンカーは金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーとする。
 - 屋外に使用するものはステンレス製(SUS304)又は溶融亜鉛めっき製(HDZ35以上)とする。
- 次に指定する部分の露出する配管、ダクト、支持金物、架台等のうち亜鉛めっき面及び合成樹脂面の塗装は行わない。(・ ダクトスペース、パイプシャフト内 ・)

屋内、屋外及びビット内の支持金物等のうち、ステンレス製(SUS304)又は溶融亜鉛めっき製のものは、原則塗装を行わない。硬質塩化ビニル管にカラーパイプを使用する場合は、監督員との協議により塗装を省略することが出来る。

次の部分の露出する電線管、支持金物、架台等は塗装を行う。(・ 一般居室、廊下等 ・)

亜鉛めっき金属電線管はエッチングプライマー1種(JIS-K-5633)による化学処理を行った後調合ペイント2回塗りとする。
- 水圧試験、満水試験、気密試験等は、配管途中若しくは隠ぺい、埋め戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。(標仕 <2>2.9.1)
- 衛生器具をコンクリート又はれんがが壁に取り付ける場合は、エキスパンションボルト又は樹脂製プラグを使用し、木れんがの場合は、防腐剤を塗布したものを壁体に埋込む。(標仕 <5>2.1.1)
- 衛生器具をコンクリートブロック壁面に取り付ける場合は、補強のため取付部分のブロック内の空洞部分をモルタル等で埋める。また、間仕切り壁等の場合は、壁内に補強材を取り付ける。(監理指針 <5>2.1.1)
- 洗面器類の排水トラップと銅管又は塩ビ管との接続は、専用アダプターによる。
- 機器には名称及び記号を、配管及びダクトには、識別表示・用途・流れ方向を記入する。(標仕 <I>1.7.4)

なお、屋外及び水気のある場所(弁室内等を含む)での機器の名称・配管識別表示等については、塗装書き又は耐候性を有するカッティングシートとし、バルブの状態表示を示す表示札等については、合成樹脂製又はアクリル製で文字等がシルク印刷又はエッチング加工されたものとする。
- 機材の検査に伴う試験については、標仕 <I>1.4.6Iにより行う。製造者において試験方法を定めている項目については、試験要領書を提出する。
- ユニット形浄化槽の製作に際しては「製品検査要領」を提出した後、製品検査を実施する。現地据付に際しては「据付検査要領」を提出する。
- ユニット形浄化槽は国土交通大臣の型式認定品とし、製造者標準仕様品とする。「本体構造等」(標仕 <8>3.1.1)で準用する現場施工型浄化槽の機材の仕様については参考とする。
- 浄化槽の蓋(枠を含む)は、溶融亜鉛めっき仕上げの鋼板製若しくは溶融亜鉛めっき仕上げの鑄鉄製とし、固定が確実で、十分な防臭性能及び耐候性を有すること。
- 試運転調整にあたっては、(監理指針 参考資料 資料2 試運転調整法 2.1、2.2)を参考とする。低圧屋内配線、弱電流電線については絶縁抵抗測定を行う。

V. 使用材料(管材)

用 途	名 称	番 号	備 考
○ 給 水	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6742	HIVP
	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116	SGP-VA (管端防食継手)
〇 排 水・通 気	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116	SGP-VD (管端防食継手)
〇 排 水	水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6762	①W又は②W
〇 排 水・通 気	水道配水用ポリエチレン管	JWWA K 144	EF継手
〇 排 水	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VP
〇 排 水	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	WSP 042	DVLP
〇 排 水	耐火二層管(内管VP)		
〇 排 水(衛生器具接続部)	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VP
〇 給 湯	下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管	AS 62	RS-WU
〇 給 湯	銅管(Mタイプ)	JIS H 3300	
〇 給 湯	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 140	SGP-HVA (管端防食継手)
〇 消 火	(地中埋設部) 保温付被覆銅管	原管	
〇 消 火	(地中埋設部) 被覆銅管	JIS H 3300	
〇 ガ ス	配管用炭素鋼鋼管(白)	JIS G 3452	SGP
〇 ガ ス	硬質塩化ビニル外面被覆銅管(黒)		
〇 油	ガス用ポリエチレン管	JIS K 6774	
〇 油	配管用炭素鋼鋼管(黒)	JIS G 3452	SGP

VI. 機材等

- 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの、又は同等のものとする。ただし、同等のものを使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。
- 下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の(1)から(3)の事項を満たすものとし、証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたものを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。
 - 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
 - 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。
 - 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

品 目	機 材 名 ・ 注 記
ボイラー	鋼製簡易ボイラー、鑄鉄製ボイラー、鋼製小型ボイラー、鋼製ボイラー
温水発生機	真空式温水発生機(鋼製・鑄鉄製)、無圧式温水発生機(鋼製・鑄鉄製)
ポンプ類	横形遠心ポンプ、立形遠心ポンプ、水中モーターポンプ(汚水用、雑排水用、汚物用)
タンク	FRP製パナルタンク、ステンレス鋼板製パナルタンク(溶接組立形、ボルト組立形) 密閉形隔膜式膨脹タンク(給湯用)
消火装置	スプリンクラー消火システム、不活性ガス消火システム、泡消火システム
鑄鉄製ふた	マンホールふた、弁胴ふた

凡 例

記 号	名 称	記 号	名 称
	給水管		給水栓(水・湯)
	汚水管		混合水栓
	雑排水管		シャワー金具(水)
	通気管		洗 浄 弁
			水栓柱・給水栓
			散水栓(箱共)
			弁 類
			逆 止 弁
			排水金物
	現状維持、存置配管		床上掃除口
	配管切断または接続箇所		間接排水
	配管貫通口はつり補修箇所		通気金物

A2 → 100%

A3 → 71%縮小

●工事名 R 4 ス 林 林業労働安全実技研修施設

徳・南庄 新築他工事

●図面名

管工事 特記仕様書

●図面番号

P-001

●縮尺

Non

有限会社 佐藤建築企画設計

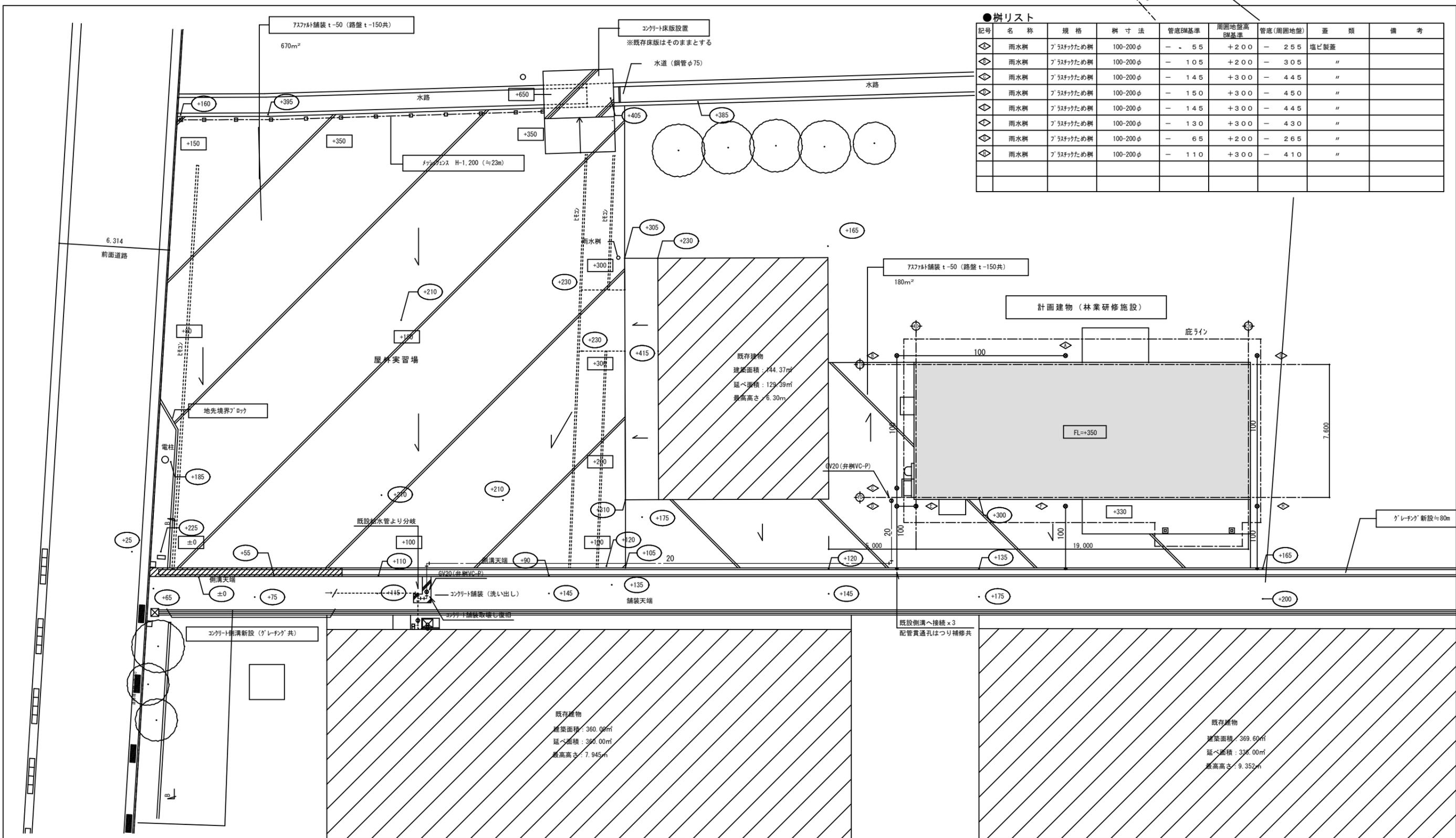
徳島市幸町1丁目4番地 TEL (088) 625-1759

管理建築士

板東 毅

1級建築士登録

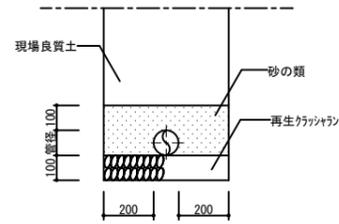
3 3 3 7 0 4 号



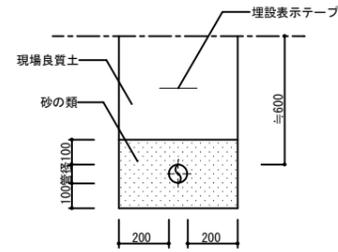
●樹リスト

記号	名称	規格	樹寸法	管底BM基準	周囲地盤高BM基準	管底(周囲地盤)	蓋種類	備考
◇	雨水樹	プラスチックため樹	100-200φ	- 55	+200	- 255	塩ビ製蓋	
◇	雨水樹	プラスチックため樹	100-200φ	- 105	+200	- 305	"	
◇	雨水樹	プラスチックため樹	100-200φ	- 145	+300	- 445	"	
◇	雨水樹	プラスチックため樹	100-200φ	- 150	+300	- 450	"	
◇	雨水樹	プラスチックため樹	100-200φ	- 145	+300	- 445	"	
◇	雨水樹	プラスチックため樹	100-200φ	- 130	+300	- 430	"	
◇	雨水樹	プラスチックため樹	100-200φ	- 65	+200	- 265	"	
◇	雨水樹	プラスチックため樹	100-200φ	- 110	+300	- 410	"	

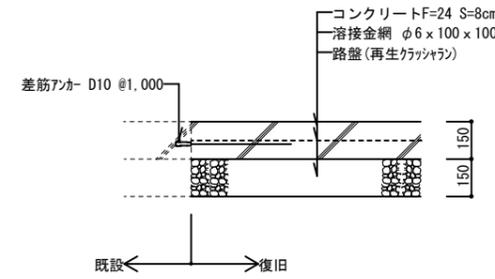
排水管理設要領参考図



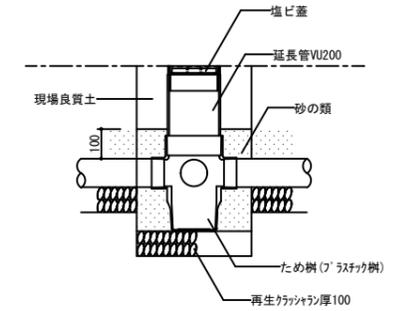
給水管埋設要領参考図



コンクリート舗装取壊し復旧参考図



プラスチック柵(ため柵)設置要領参考図



A2 → 100%
A3 → 71%縮小

●工事名 R4ス林 林業労働安全実技研修施設
徳・南庄 新築他工事

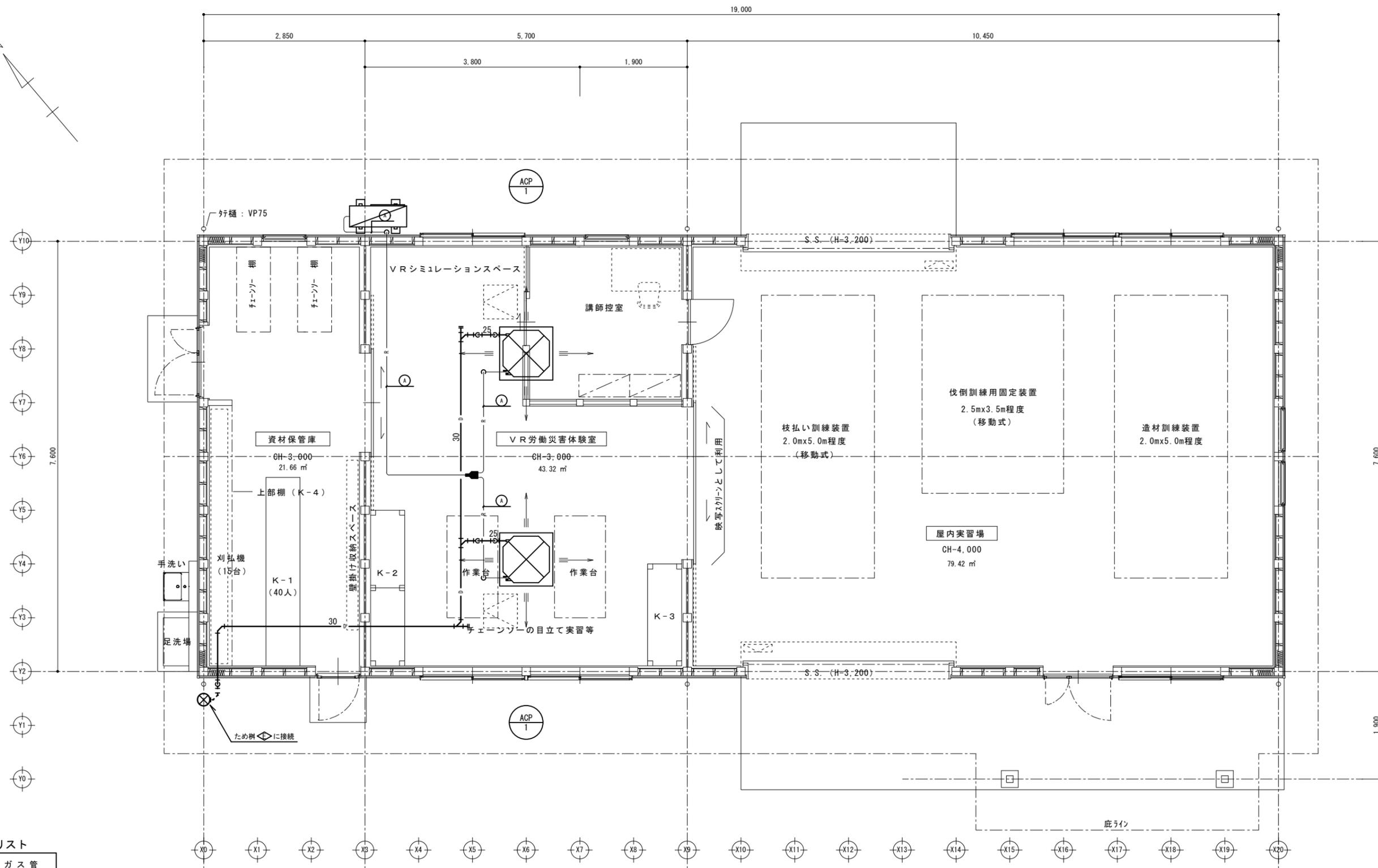
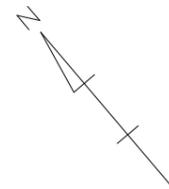
●図面番号 P-004

有限会社 佐藤建築企画設計
徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759

●図面名 衛生設備 各部参考断面図

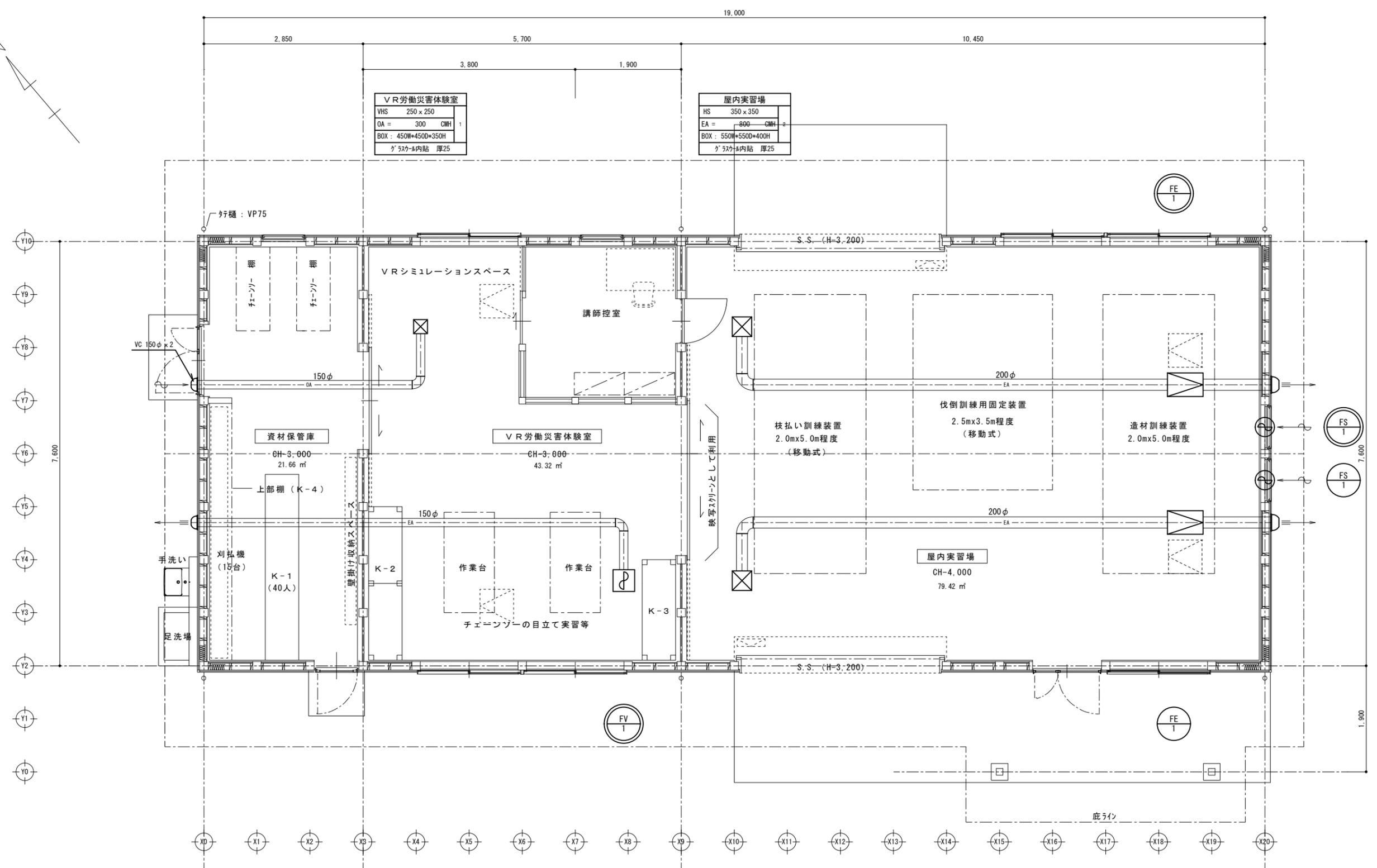
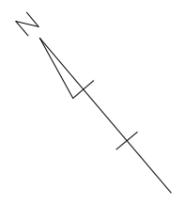
●縮尺 Non

管理建築士 板東 毅
1級建築士登録 333704号



冷媒配管サイズリスト

記号	液管	ガス管
①	9.5φ	15.9φ
②		
③		
④		
⑤		



※ 図中 ⊖ の換気扇は24時間換気兼用とし、スイッチにその旨を表記のこと。

A2 → 100%		●工事名 R4ス林 林業労働安全実技研修施設 徳・南庄 新築他工事	●図面番号 C-005	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759
A3 → 71%縮小		●図面名 換気設備 1階平面図	●縮尺 1/50	管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号